

地域振興推進費事業計画・自己評価書（令和元年度実績）

提出区分	実績			佐久地域振興局	
整理番号	7	課題区分	C		
実施機関	佐久地域振興局		担当課	所属	林務課
事業名	佐久カラマツ林業推進事業			電話	0267-63-3154
				E-mail	sakuchi-rimmu@pref.nagano.lg.jp
事業の概要	目的 (目指す姿)	佐久地域のカラマツの有効利用、需要拡大による持続可能な林業経営			
	現状と課題	<p>当地域のカラマツは主伐期を迎え、今後、素材生産量の増加が見込まれている。一方、カラマツ材の利用は、合板、土木用材が大半を占めており、佐久カラマツの品質を活かした高付加価値が見込める建築材等への利用は進んでいない。</p> <p>現在、佐久カラマツの森林認証を推進し、ブランド化に取り組んでいるが、消費者等の認知度は低い状況である。将来持続可能な林業経営に向け、佐久カラマツの需要の拡大や高付加価値を図るためには、上下流の連携と森林所有者へ十分な還元を図ることが必要である。</p>			
要等	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○林業・木材関係者及び一般住民を対象に地域産カラマツ材の利用拡大等に向けた森のフェスティバル（講演会・地元材PR等）の開催 ○信州カラマツのブランド力強化と森林認証制度の推進 ○森林所有者の意欲喚起に向けたカラマツ林業・カラマツ材を紹介するリーフレットの作成及びカラマツ材PR用パーテンションの作製 ○小学生を対象とした森林・環境教育の実施、地元高校生を対象にした林業等の体験・職場見学ツアー（林業従事者確保のためのPR活動）の実施 ○市町村等と連携した森林・環境教育（カラマツ実践塾）の実施 ○カラマツ林維持のため、山火事予防等のパトロールなど啓発活動の実施 			
	事業期間	平成31年4月		～	令和2年3月
成果目標 (成果指標)	<ul style="list-style-type: none"> ○イベントへの参加・出展 1回、森のフェスティバルの開催 1回 ○講演会、検討会の開催 1回 ○高校生を対象とした林業体験ツアーの開催 1回 ○森林・環境教育の実施 5回 ○県民の佐久カラマツの認知度向上及び利用拡大を図る。（平成31年度目標 主伐面積100ha 主伐後の再造林70ha） 				
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考	
	森のフェスティバル(森林フォーラム・森の恵みフェスティバル)	講演会を主とする森林フォーラムに加えて、屋外広場に、林業関係ブース展示し、広く県民にPRを実施	335,789		
	カラマツ林業振興・カラマツ材利用拡大PR	森林所有者の意欲向上による主伐、利用、再造林を促進するためのリーフレットの作成及びカラマツ材PR製品を作製	199,350		
	森林・環境教育(カラマツ実践塾)	小学生等を対象にした森林・環境教育の実施 林業就業に向けて高校生を対象にした林業体験ツアーの実施	83,400		
カラマツ林保全の啓発	山火事防止等パトロールなど啓発活動の実施	80,850			
合計			699,389		
事業実績・成果	事業実績	事業の成果	評価		
	<ul style="list-style-type: none"> ○9/21 森の恵みフェスティバルには、林業関係団体と連携し、一般参加者約200人が来場。幼児から大人、様々な人の「森の恵み」体験を実施。 ○9/21 森林フォーラムには、建築関係者など約50人が来場。講演会、意見交換等を実施。 ○森林・環境教育は小学校等4校に13回実施(約180人が参加) ○12/7 高校生の林業体験ツアーは2高校、25人が参加。 ○12/10・11 東京で開催されたWOODコレクションに佐久ブースを出展(約240人が来場) 	<ul style="list-style-type: none"> ○カラマツ材製品をPRし、利用拡大に寄与することができた。 ○高校生に「林業」を知ってもらうことで、将来就職する際の選択肢の一つに加えてもらう契機とすることができた。 ○主伐及び再造林の推進に向けた取組みを進めることができた。(平成31年度(令和元年度)主伐面積約100ha(詳細集計中)、再造林72.48ha(補助実績)) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下 		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○引続きカラマツ材のPRを実施し、利用拡大とブランド化を図るとともに、主伐、再造林を進め持続可能な林業を推進する。 ○併せて、カラマツ林業の振興を図るために、担い手の確保に努める。 				